

# MISSION:九州における隠れキリシタンの真相を暴け！

## ～竹田におけるキリシタンの謎を調べる～

熊本県立宇土高等学校

### 要旨

先輩方の潜伏キリシタンについての先行研究を拝見し、更に深掘りをする為貿易に目をつけたものの、資料は見つからなかった。理由を知りたく熊本大学の准教授に伺い、天草は文献が少なく資料も残っていないと教えてもらった。そこで私達は資料が残っている大分県の竹田キリシタン資料館を調査し参考にした。その結果、竹田の隠れキリシタンは海外とやり取りできていた可能性があることがわかったが、密輸条件が天領である天草での隠れキリシタンには竹田程の経済力がなく厳しかったのではないかという考察が出た。今後としてはキリシタンに馴染みの藩を調べるか、密貿易について条件の揃った地域及び藩について調べるかの2つから選択し研究することになるだろう。

### 1. 目的

潜伏・隠れキリシタンは近年世界でも注目されつつあるが、全体的に謎が多く、調べるだけではわからないことも多い。その謎の一つにあるのが、“彼らはどうやって信仰のための道具などを手に入れていたのか”ということだ。私達はその真相に迫るため、密輸をしていたと仮定し、調べることにした。

### 2. 方法

- ・関連する参考文献の調査
- ・本校の歴史の先生が紹介して下さった熊本大学の准教授へのインタビュー
- ・大分にある竹田市キリシタン資料館をはじめとした現地へと赴いての調査など

- 仮説: 船舶が隠れキリシタン達と直接取引していた

### 3. 結果



天草には海外との貿易港がない

→天草で密貿易が行われていた可能性は低い

#### ●現地調査・文献の検証

##### ・竹田での調査結果、考察

##### (1)密貿易に必要なもの

「貿易港」

天草には荒尾岳と牛深遠見山の二箇所に番所(見はり)があり、船舶の動向が監視されていた

⇒その周辺での密輸はできなかった

もしできるなら…

東シナ海の離島を利用したかも・・・

問題点: 隠れキリシタンたちに貿易に使える舟の準備及び貿易品目の絹、銀の産地ではない

##### (2)藩ぐるみでの信仰

竹田藩ではキリシタン大名の高山右近の家臣を引き取っており、キリシタンに関して寛容であった。

迫害から逃れた宣教師たちが信仰具を持ち込み各地から集まり、資料も多数残っていたが密貿易で日本に持ち込まれたものではない。竹田藩は大分の鶴崎に港を持っていたが貿易についての資料は見つからなかった。

##### まとめ

- ・密輸には舟が必要
- ・可能性があるのは東シナ海の方
- ・天草は天領であり、竹田藩のような後ろ盾はなかった。

##### ・天草での調査結果

**天草には密貿易に関する資料が見つからなかったため、成果が得られなかった。**

天草の資料が見つからなかった理由

貿易品は目利きという役人によってチェックされキリスト教関連の書籍などは焼き払われた

(天草・島原の乱で人も物も消失)

### 4. 考察

資料が残っている竹田のキリシタン館に足を運んだ結果判明したこと

- ・竹田の隠れキリシタンは藩が黙認(旧大友領)
- ・信者が多かった

**竹田では貿易についての資料はなかった**

- ・藩主、家臣ともにキリシタンに寛容であり、後に竹田では隠れキリシタンではなく隠しキリシタンと表現されることもある。

- ・天草では竹田のような後ろ盾はなく隠れキリシタンだけの密貿易は非常に困難だと考えられる。

### 5. 感想

今回の研究を行って・・・

隠れキリシタンの歴史は今の段階ではゴールが見えない

↳今後密貿易について掘り下げる内容としては、

- ・キリシタン馴染みの藩を調べる
- ・密貿易の可能性のある地域の藩について調べる

この2つを考えていきたい。

### 6. 参考文献

- ・宣教師が竹田に遺した足跡(竹田市キリシタン館)
- ・潜伏キリシタンを知る辞典(安高啓明 石澤一未)
- ・九州のキリシタン大名(吉永正春)
- ・隠れキリシタン～長崎・五島・平戸・天草を巡る旅～(後藤真樹)